

タイトル	生命に学び地域に開く
名称（学校・地域）	長野県上伊那農業高等学校
日時・場所等	
ホームページアドレス	http://www.nagano-c.jp/iono/

「地域の自然・生活・人々」様々な環境と関わった取り組みをしています

21世紀に求められる生命・食料・環境に関する専門分野の知識と技術を身につけ、地域の発展のために貢献する人材の育成をめざしています。

☆環境に負荷をかけないコメづくりを地元農家の皆様とともに☆

鶏糞肥料を用いた水稻の減農薬・有機肥料栽培研究に取組み継続13年目を迎えました。村・J A・農家・信州大学と連携した栽培検討会議に加わり、新ブランド特別栽培米「風の村米だより」を発案。4年前から地域の「田んぼ体験隊」の運営に携わり、環境に配慮したお米の地域ブランド化、さらに全国発信に挑戦しています。



現地検討会



田んぼ体験



地域ブランド

☆絶滅危惧植物の保護に向けて☆

絶滅危惧種のアツモリソウをバイオテクノロジーの技術を用いて増殖する研究を8年前から行っています。今年は長野県環境部と連携し、美ヶ原のアツモリソウの保護活動がはじまり、自生するアツモリソウの人工受粉や種子の入ったさやの採取を行い、学校で無菌は種を行うことができました。また、8月には山の日の祝祭典に出演することで活動を知っていただきました。



希少野生動植物保護回復事業の認



美ヶ原での人工受粉



無菌操作の様子

☆伊那谷のアカマツ林保護と諏訪湖の水環境保護に繋げる取り組み☆

～アカマツ材チップと諏訪湖水生植物ヒシの混合堆肥作成に関する研究～

本校をとりまく地域資源として、伊那市には広い面積のカラマツ林が存在します。しかし、その多くは放置され、間伐された細い木や曲がった木の利用方法は十分に見出せない状況です。そこで、天竜川上流の諏訪湖の湖面を覆い、水質への影響が懸念される水生植物「ヒシ」と、間伐されたカラマツの製材過程で出る木材チップを混合させた完全発酵堆肥作成の研究をきっかけに、天竜川でつながれた上流と中下流に住む人々との水環境保護や、「里山」整備の重要性を地域に発信していきます。



諏訪建設事務所様の



ヒシを校内で乾燥



アカマツチップや乾燥ヒシの量を変え試験